

# 学振特別研究員になるために

## 研究費を獲得するための申請書のコツ

(2024年度申請版)

東京工業大学 情報理工学院 情報工学系 助教

大上 雅史

ohue@c.titech.ac.jp

特別研究員-DC 申請書  
202212345  
第2版

①氏名 大上 雅史  
②研究課題名 学振申請書の書き方とコツ

1. 申請者情報等  
③氏名 大上 雅史  
④学歴 東京工業大学  
⑤博士の状況 博士課程修了  
⑥研究・職歴 助教

⑦研究・職歴  
1. 2019年 4月 - 2020年 9月 JAI CRETO リサーチアシスタント  
2. 2020年 9月 - 2020年 10月 東京工業大学  
3. 2020年 11月 - 2021年 3月 JAI CRETO リサーチアシスタント

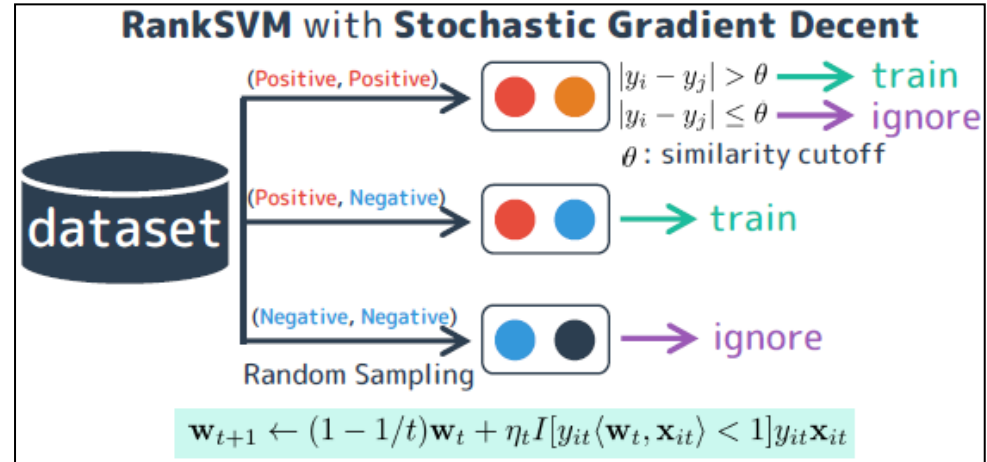
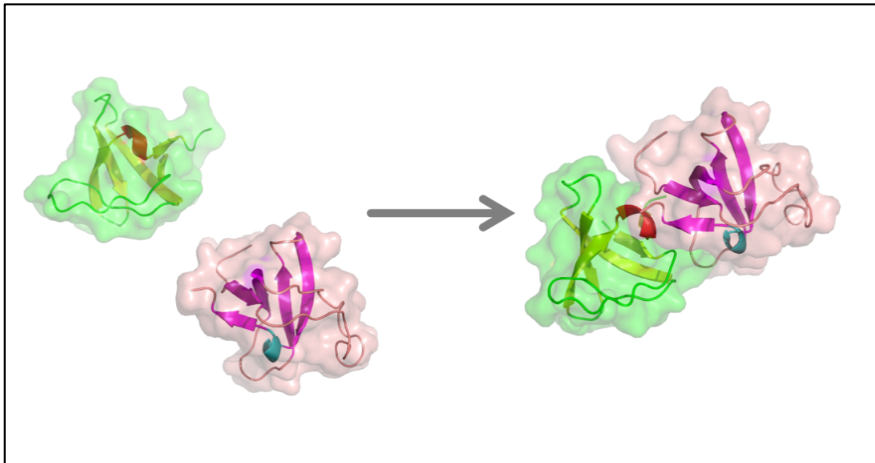
⑧研究・職歴別紙: 有  
⑨外国人留学生に対する奨学金等受給の有無 無

申請者登録名 大上 雅史  
DC

# 私はナニモノか？

## • 大上 雅史（おおうえ まさひと）

- 現在，東京工業大学 情報理工学院の助教
  - テニユアトラック制度という特殊制度でPI、すずかけ台に大上研究室
- 学振DC1，学振PDの採用を経験
- 主な研究内容はバイオインフォマティクス
  - 計算機による生命科学の研究
  - 主にタンパク質間相互作用や創薬支援計算に関する研究
  - 機械学習、シミュレーション、TSUBAME/ABCI/富岳を使った並列計算など



# 略歴

電気電子

2002年4月～2007年3月  
石川工業高等専門学校 電子情報工学科

情報

2007年4月～2009年3月  
東京工業大学 工学部 情報工学科 (3年次編入)

生命情報

2009年4月～2011年3月  
東京工業大学 大学院情報理工学研究科 計算工学専攻 修士課程

生物物理

生化学

2011年4月～2014年3月  
東京工業大学 大学院情報理工学研究科 計算工学専攻 博士課程  
日本学術振興会 特別研究員 (DC1)

創薬科学

2014年4月～2015年3月  
日本学術振興会 特別研究員 (PD), 東京工業大学 特別研究員  
(東京工業大学 大学院情報理工学研究科 計算工学専攻)

2015年4月～2020年3月  
東京工業大学 大学院情報理工学研究科 助教 (2016.4 改組)

2020年4月～  
東京工業大学 情報理工学院 助教、大上研究室開設

## 「学振申請書の書き方とコツ」 改訂第2版

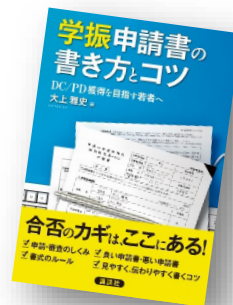
著者：大上 雅史

出版社：講談社

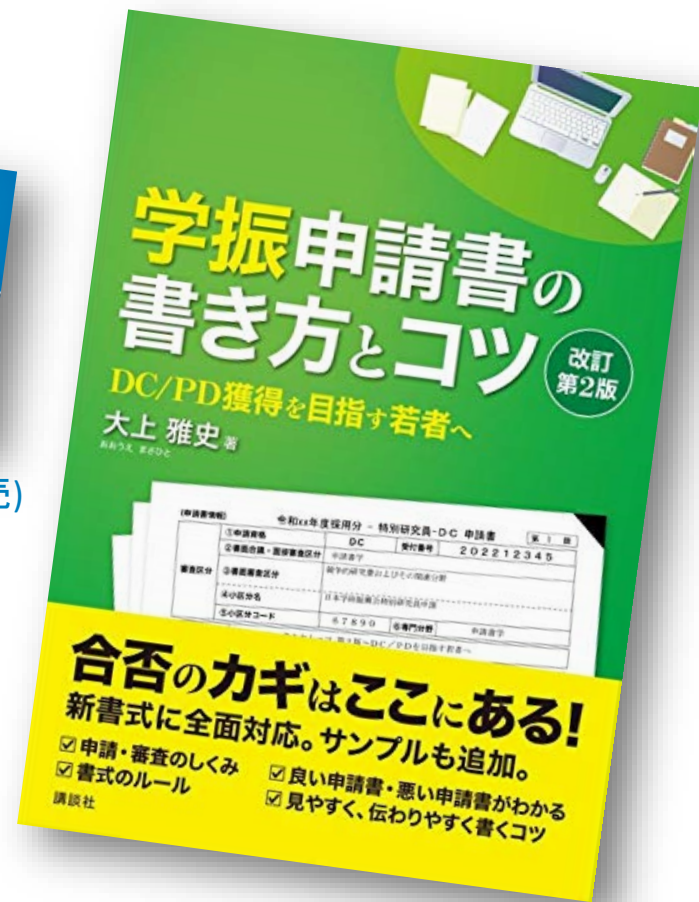
2021/3/19発売

価格：2,500円+税

ページ数：208ページ



初版(2016年発売)



電子書籍もあります

~~必勝法があるなら私が知りたい~~

採択可能性を上げるための  
コツがあります

# Take-home message

- **学振獲得のための申請書作成には、研究者としての能力以上に、一般的な能力が求められる。**
  - 内容を「伝える」ことが必要。  
当たり前のようで、できていない人が多い。
  - 人は第一印象が根強く残る。  
第一印象が悪いとそれだけで落ちることもありうる。
- **申請書作成のコツを押さえることで、学振の採用可能性は上げられる。**
  - 研究費獲得は研究者にとっては日常そのもの。  
ただし、どんなに優れた研究者でも3割バッター。
  - とにかく書いて出す。書くことが大切。経験を積もう。
  - 学生のうちからチャレンジしよう。

# 学生が応募できるもの（一例）

- **日本学術振興会 特別研究員DC1/DC2**
  - 通称「学振」
  - 月20万円の奨励金と年100万円前後の研究費
  - 博士課程の院生向け
- **JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム**
  - 月15万～程度の奨励費と研究費（大学に依る）。
  - 大学がJSTに採択された枠に沿って各大学単位で実施。募集等も大学内で。
    - 実施大学はJSTのリリースを参照。 <https://www.jst.go.jp/jisedai/>
- **文部科学省 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業**
  - 月15万～程度の奨励費と研究費（大学に依る）。
  - 大学が文科省に採択された枠に沿って各大学単位で実施。募集も大学内で。
    - 実施大学は文科省のリリースを参照。  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/jinzai/fellowship/1419245\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fellowship/1419245_00001.htm)
- **卓越大学院プログラム**
  - JSPS卓越大学院制度で実施される各大学の各教育プログラム。
  - 奨励費が設定されているプログラムが多い。募集も各プログラムで。
  - 研究分野や参加可能部局などが決まっているので、詳細は各募集を参照
    - JSPSの採択プログラム一覧 <https://www.jsps.go.jp/j-takuetsu-pro/saitaku/>

- **文部科学省 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業**

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業

## 東京工業大学 高度人材育成博士フェローシップ

Cyber Physical & Social Systemsの概念に基づいて、  
スマート社会実現のための科学技術イノベーションを創出する博士人材を育成

申請期間

<https://www.fellowship.gakumu.titech.ac.jp/about/>



- 次世代研究者挑戦的研究プログラム

東京工業大学 次世代研究者挑戦的研究プログラム

# 殻を破るぞ!

越境型理工系博士人材育成プロジェクト

#挑戦的 #分野横断的 #高度専門力 #汎用力  
#国際教養力 #知の発見 #価値の創造 #課題の構造化  
#リーダーシップ #社会的説明力

<https://tokyotech-crossborder.gakumu.titech.ac.jp/apply/>

## 東京工業大学 次世代研究者挑戦的研究プログラム 殻を破るぞ！越境型理工系博士人材育成プロジェクト

費目	支給額	対象者	支給方法
a. 研究奨励費（生活費相当額）	月額15万円 (年額180万円)	全員	毎月、本人が指定する口座に振り込み
b. 研究費	年額40万円 (一律同額)	全員	本学にて執行管理 (予算コード付与)
c. 次世代研究者挑戦的研究プラス	年額最大70万円 (学生により異なる)	申請者のうち 合格者のみ	本学にて執行管理 (予算コード付与)
d. 学外研鑽プラス	学生により異なる	申請者のうち 合格者のみ	本学にて執行管理 (予算コード付与)

<https://tokyotech-crossborder.gakumu.titech.ac.jp/apply/>

# 学生が応募できるもの（一例）

- **産総研 リサーチアシスタント（RA）** [https://www.aist.go.jp/aist\\_j/collab/ra/ra\\_index.html](https://www.aist.go.jp/aist_j/collab/ra/ra_index.html)
  - 修士学生・博士学生が産総研の研究室で勤務（研究）
  - 時給制。修士最大16万円程度、博士最大20万円程度。募集は随時。
- **理研 大学院生リサーチ・アソシエイト（JRA）** <https://www.riken.jp/careers/programs/jra/>
  - 博士（後期）課程在籍者を非常勤として理研に受け入れ
  - 月164,000円の給与 +  $\alpha$
- **その他**
  - 吉田育英会 大学院生給与奨学金ドクター21 (<http://www.yzf.or.jp>)
  - 本庄国際奨学財団 日本人大学院生奨学金 (<http://www.hisf.or.jp>)
  - 日本化学工業協会 (<https://www.nikkakyo.org>)
  - 中谷医工計測技術振興財団 (<https://www.nakatani-foundation.jp>)
  - 武田科学振興財団 医学部博士課程 (<https://www.takeda-sci.or.jp>)
- **JST ACT-X（競争的研究資金）** <https://www.jst.go.jp/kisoken/act-x/>
  - 国の戦略目標に合わせた分野。600万円前後の研究費で2年+。
    - リアル空間を強靱にするハードウェアの未来、AI活用で挑む学問の革新と創成、数理・情報のフロンティア、生命現象と機能性物質（学生採択あり）、環境とバイオテクノロジー（学生の採択は現状0）
  - 修士学生から応募可能。学生の場合は自身にRA給与を最大200万円/年出せる制度あり。
    - 情報系分野は特に学生の採択が多い（東工大の学生も採択実績あり）。一部の生命系領域はポスドク以上必須。

# 今日の内容 – 申請書の書き方とコツ 4 選

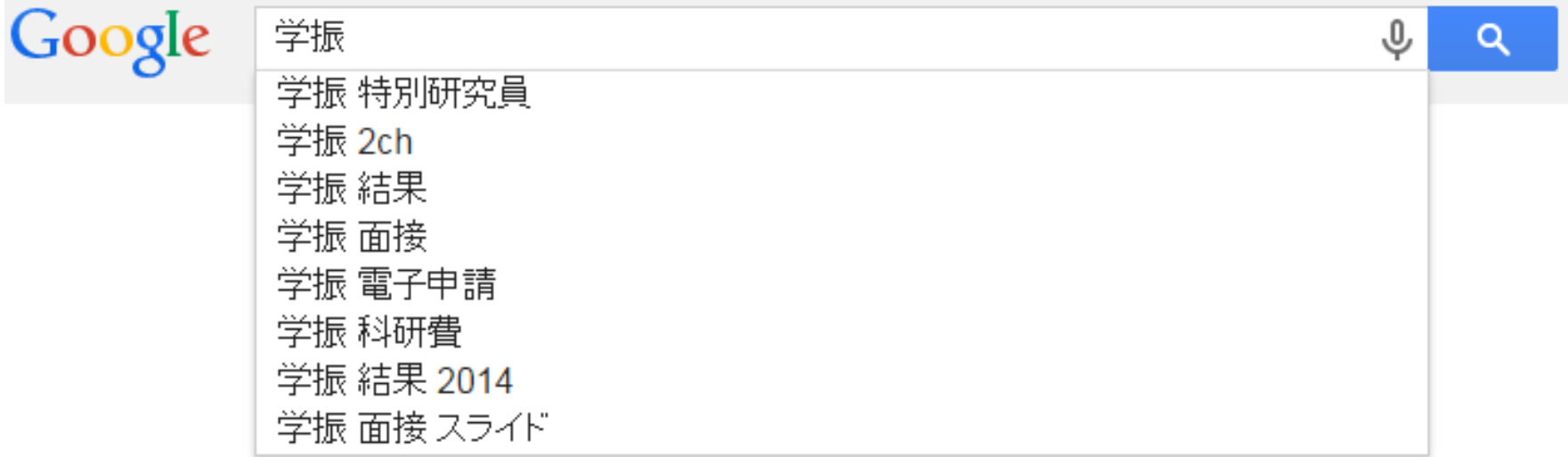
1. 敵を知り己を知れば百戦殆うからず(制度編)
2. 伝わる申請書にする
3. 業績アピールをする
4. 敵を知り己を知れば百戦殆うからず(審査編)

# 今日の内容 – 申請書の書き方とコツ 4 選

1. 敵を知り己を知れば百戦殆うからず(制度編)
2. 伝わる申請書にする
3. 業績アピールをする
4. 敵を知り己を知れば百戦殆うからず(審査編)

# まず敵を知りましょう

## ・ググりましょう



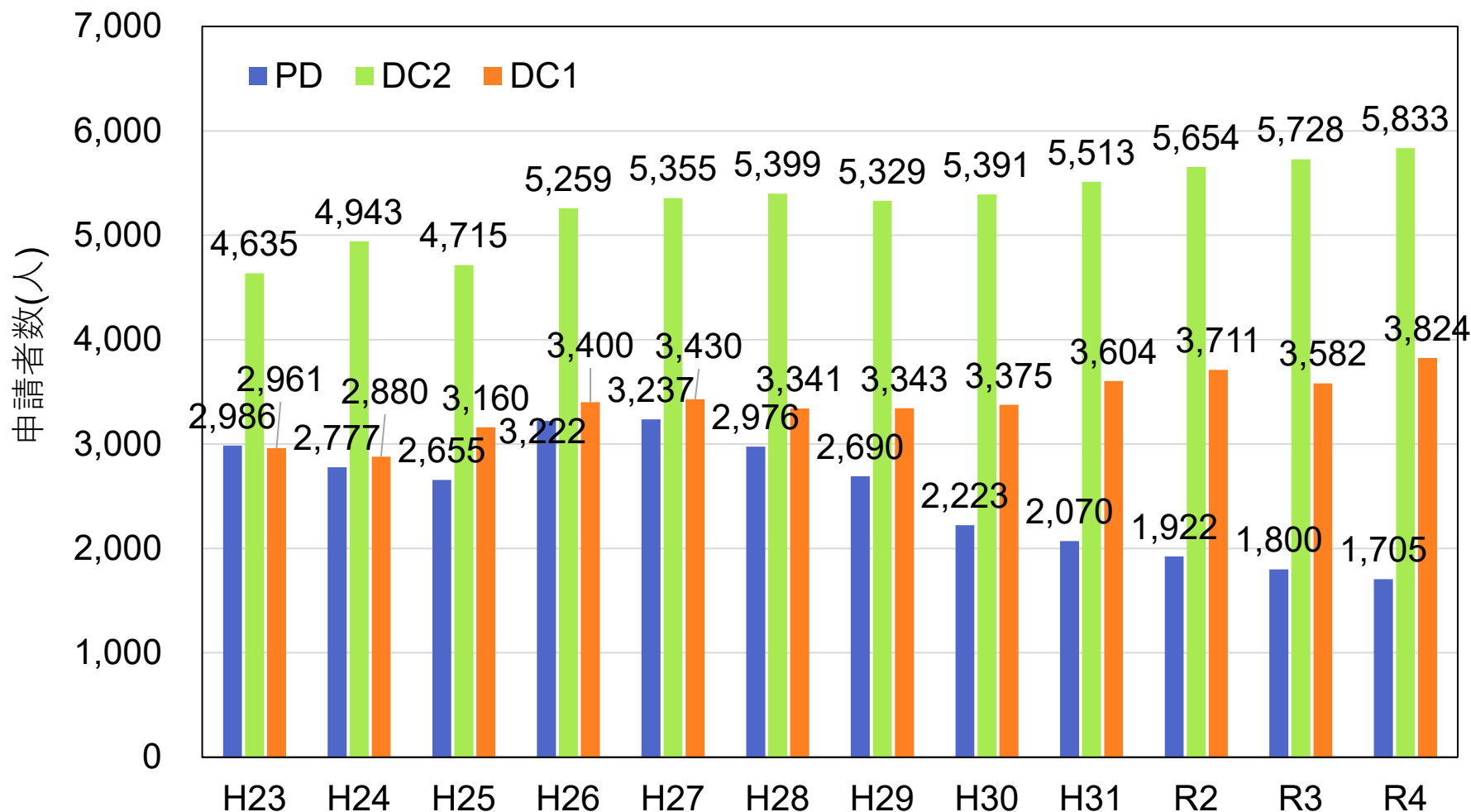
# まず敵を知りましょう

## • 学振 (がくしん) とは

- 「日本学術振興会 特別研究員 DC1/2, PD, RPD, CPD」 制度
  - 「DC1」とか「学振PD」とか略することが多い
- 3年間 or 2年間, 生活費 (特別研究員研究奨励金) がもらえます
  - DC1, DC2 : 20万円/月
  - PD, RPD : 36.2万円/月
  - CPD : 44.6万円/月 (PD採用者が応募できる海外渡航枠)
- 募集要項を良く読みましょう
  - 申請先は基本的には以下の通り (医学系等の4年制Dは少し異なります)
    - M2→DC1 (3年)
    - D1/D2→DC2 (2年)
    - D3以上→PD (3年)
- **DCは途中で学位を取ったらPDに変更され、研究奨励金もPDの金額 (=36.2万円) になります。 [R4からの変更点]**

### 最近の申請者数

R3年データ。日本学術振興会 特別研究員等説明会資料、申請状況などから大上作成



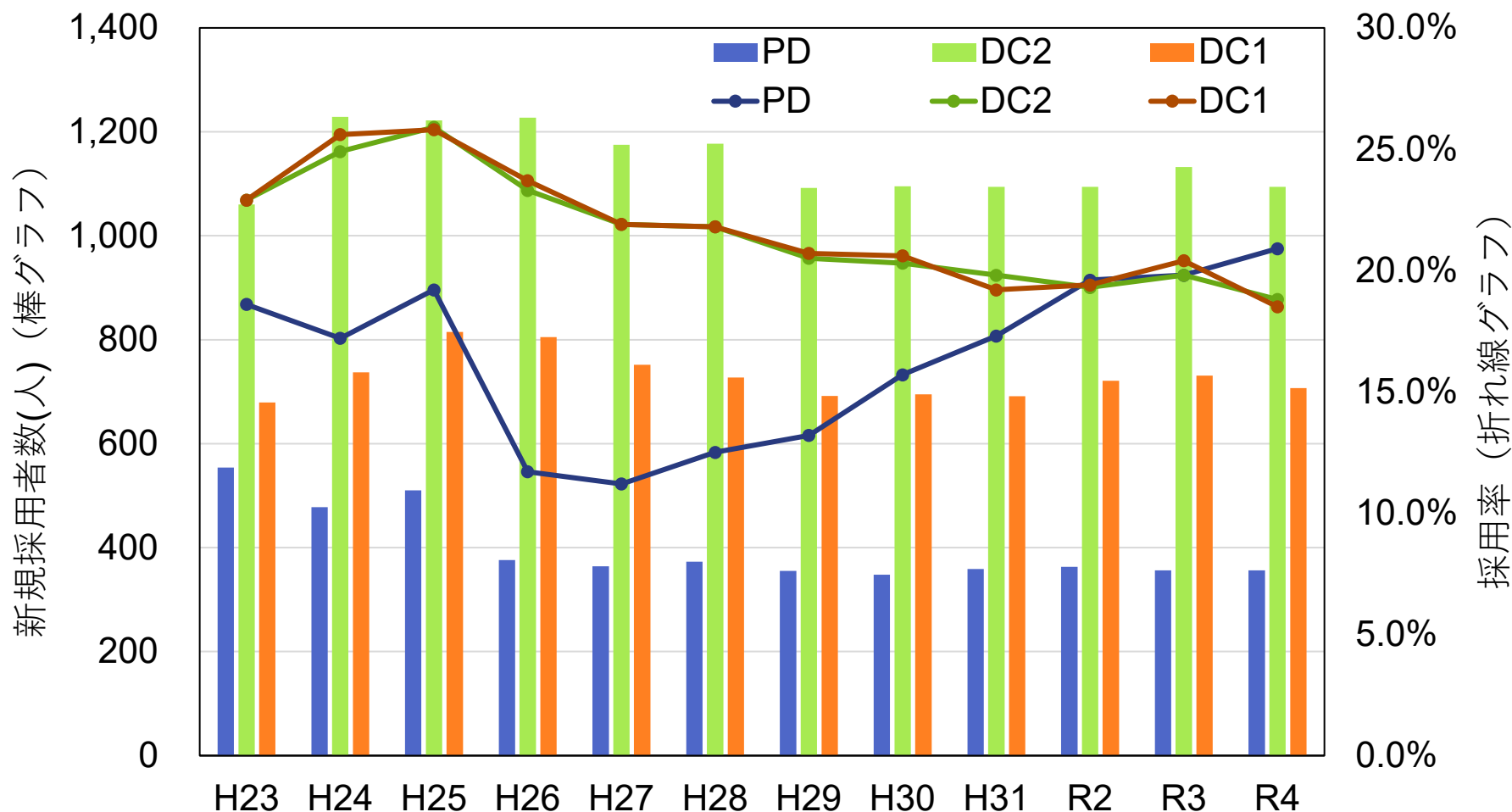


# まず敵を知りましょう

## 1. 敵を知り己を知れば百戦殆うからず(制度編)

### 最近の採用者数と採用率

R4年データ。日本学術振興会 特別研究員 ウェブサイトの採用状況から大上作成



# まず敵を知りましょう

## 1. 敵を知り己を知れば百戦殆うからず(制度編)

### 領域毎の採用者数

R3年データ。日本学術振興会 特別研究員等説明会資料 (R4.2.24) より

区分	PD		DC 2		DC 1		計	
	申請数	採用数	申請数	採用数	申請数	採用数	申請数	採用数
人文学	352 (141)	71 (25)	567 (260)	112 (47)	335 (136)	66 (18)	1,254 (537)	249 (90)
社会科学	260 (95)	51 (24)	588 (292)	117 (52)	348 (126)	69 (24)	1,196 (513)	237 (100)
数物系科学	361 (36)	68 (2)	758 (75)	150 (13)	568 (58)	117 (12)	1,687 (169)	335 (27)
化学	65 (6)	13 (1)	546 (94)	106 (18)	350 (52)	73 (13)	961 (152)	192 (32)
工学系科学	141 (22)	26 (3)	1,110 (182)	218 (31)	610 (78)	125 (17)	1,861 (282)	369 (51)
情報学	35 (10)	5 (2)	416 (65)	83 (9)	267 (32)	54 (4)	718 (107)	142 (15)
生物系科学	197 (45)	39 (6)	460 (136)	92 (29)	351 (118)	73 (20)	1,008 (299)	204 (55)
農学・環境学	193 (65)	38 (8)	498 (152)	98 (31)	326 (114)	67 (24)	1,017 (331)	203 (63)
医歯薬学	196 (68)	45 (11)	785 (268)	156 (45)	427 (132)	87 (28)	1,408 (468)	288 (84)
計	1,800 (488)	356 (82)	5,728 (1,524)	1,132 (275)	3,582 (846)	731 (160)	11,110 (2,858)	2,219 (517)

・令和3年度の採用率は、PD:19.8%、DC2:19.8%、DC1:20.4%、全体で20.0%

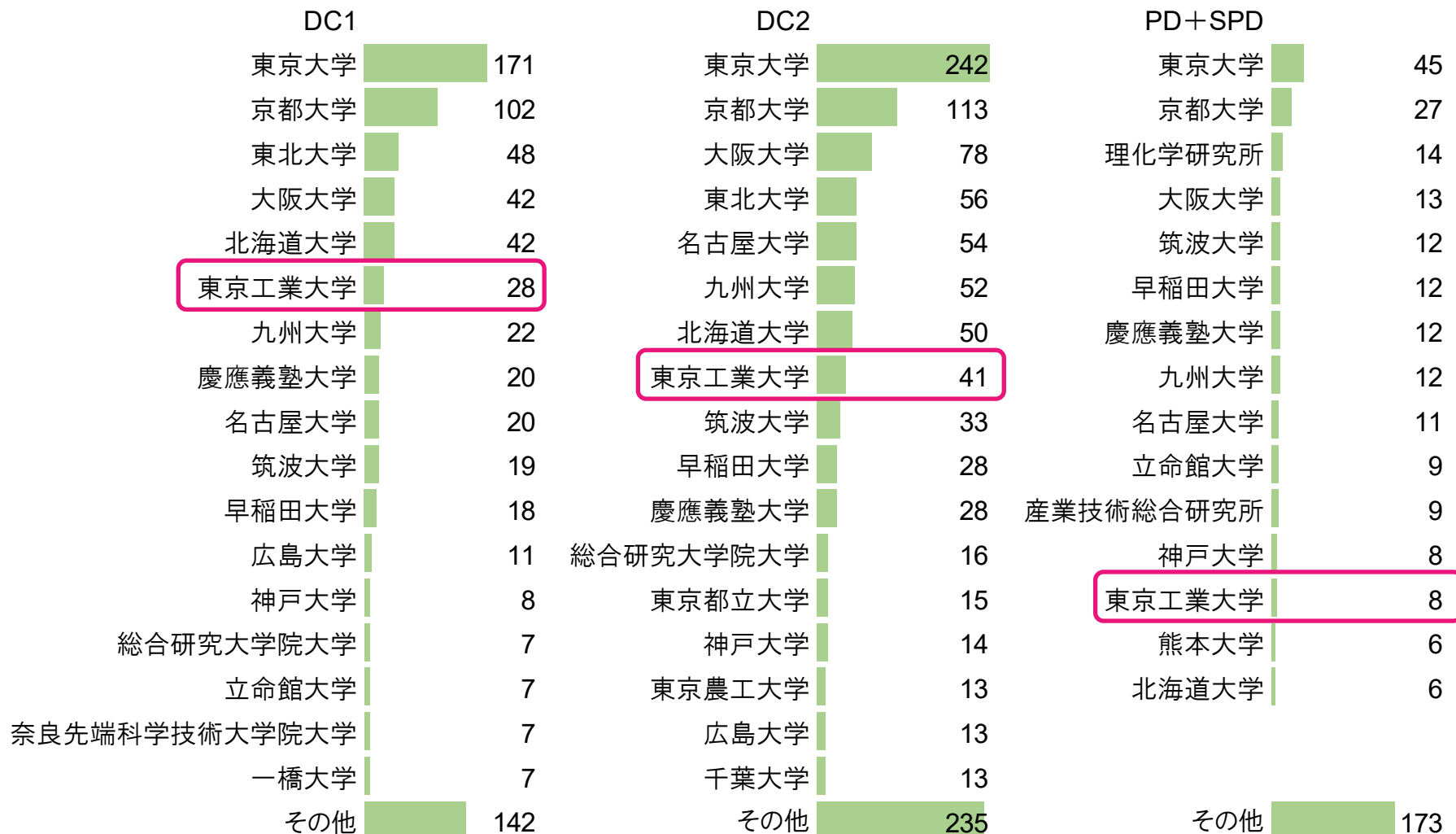
・( )内は女性の数で内数

# まず敵を知りましょう

## 1. 敵を知り己を知れば百戦殆うからず(制度編)

### 大学別の採用者数

令和2年度採用者情報より大上作成



令和5年度要求・要望額 306億円  
 (前年度予算額 262億円)  
 ※運営費交付金中の推計額含む



文部科学省

予算要求の様子を見ると将来何が起きるかを予想できる (そのまま実現するとは限らないが)

## 2. 科学技術・イノベーション人材の育成・確保

- 我が国の科学技術・イノベーションを担う多様な人材の育成や活躍促進を図るため、**博士後期課程学生を含む若手研究者への経済的支援の強化、キャリア構築支援・研究環境確保・能力開発等を一体的に推進**
- また、次代の科学技術・イノベーションを担う人材の育成機会の拡大に向け、**初等中等教育段階における先進的な理数系教育実施等への支援を強化**
- 併せて、多様な視点や優れた発想を取り入れた科学技術・イノベーションの活性化に向け、**女性研究者の活躍促進に向けた取組を充実**

### 若手研究者等の育成・活躍促進

## 文科フェロシップ・次世代

博士課程学生・ポスドク  
若手研究者

#### ◆ 博士後期課程学生の処遇向上と研究環境確保 (大学フェロシップ創設事業)

**4,901百万円 (3,368百万円)**

優秀で志のある博士後期課程学生が研究に専念するための経済的支援 (生活費相当額、研究費) 及び博士人材が産業界等を含め幅広く活躍するためのキャリアパス整備を一体として行う実力と意欲のある大学を支援。

※「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」及び「次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)」を一体的に運用し、令和5年度は全体で約9,000人 (令和4年度より約1,000人増) の博士後期課程学生の支援を実施

※あわせて、「創発的研究支援事業」により、研究者をリサーチ・アシスタント (RA) として支える博士課程学生等 (800人分/期) に対する支援を実施【令和3年度補正予算】

#### ◆ 特別研究員制度 **18,459百万円 (16,134百万円)**

我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保を図るため、優れた若手研究者に研究奨励金を給付して研究に専念する機会を提供し、研究者としての能力を向上できるよう支援。令和5年度から特別研究員 (DC) への更なる支援の充実を図る。

#### ◆ 世界で活躍できる研究者戦略育成事業 **344百万円 (344百万円)**

若手研究者に対し、産学官を通じて研究者として必要となる能力を育成するシステムを組織的に構築。

### 女性研究者の活躍促進

#### ◆ ダイバーシティ研究環境実現

イニシアティブ

**1,252百万円 (1,037百万円)**

研究と出産・育児等の両立や女性研究者のリーダーの育成を一体的に推進する大学等の取組を支援。令和5年度は「女性リーダー育成型」の支援規模を拡充。

#### ◆ 特別研究員 (RPD) 事業 (再掲)

**930百万円 (930百万円)**

出産・育児による研究中断後に、円滑に研究現場に復帰できるよう、研究奨励金を給付し、支援。(RPD: Restart Postdoctoral Fellowship)

学振

### 次代の科学技術・イノベーションを担う人材の育成

#### ◆ スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 支援事業 **2,408百万円 (2,276百万円)**

先進的な理数系教育を実施する高等学校等をSSHに指定。令和5年度から、指定校と域内の学校や大学、企業等との連携が円滑になるよう、コーディネーターの配置等を支援。

#### ◆ 国際科学技術コンテスト **983百万円 (680百万円)**

主に理数系の意欲・能力が高い中高生が相互に競い、研鑽する場を支援。令和5年度は数学および物理の国際科学オリンピックが日本で開催予定。

#### ◆ 大学等による次世代の科学技術人材育成支援 **780百万円 (680百万円※)**

理数分野で卓越した才能を持つ小中高校の児童生徒を対象とした大学等の育成活動を支援。  
 ※グローバルサイエンスキャンパスとジュニアドクター育成塾の合計額

初等中等教育段階



#### ◆ 女子中高生の理系進路選択支援プログラム

**72百万円 (42百万円)**

女子中高生が適切に理系進路を選択することが可能となるよう、地域で継続的に行われる取組を推進。





## 特別研究員制度

令和5年度要求・要望額 18,459百万円  
 (前年度予算額 16,134百万円)  
 ※運営費交付金中の推計額



文部科学省

### 背景・課題

- 優れた若手研究者に対して、その研究生生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保を図る制度として昭和60年度から実施。
  - 近年、修士課程修了者の博士後期課程への進学率は減少傾向が続いており、優秀な若者が博士後期課程に進学し、経済的不安なく研究に打ち込めるよう環境の整備を図ることが喫緊の課題。
- 【科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定)抜粋】 ●優秀な若手研究者が、(中略)研究に打ち込む時間を確保しながら、自らの人生を賭けるに値する価値を見出し、独立した研究者となるための挑戦に踏み出せるキャリアシステムを再構築する。●特別研究員(DC)制度の充実(中略)を進める。
- 【経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定)抜粋】 ●博士課程学生の処遇向上を始め、未来ある研究者の卵たちにキャリアパス全体として魅力的な展望を与え、研究に専念できる支援策を深化させる。

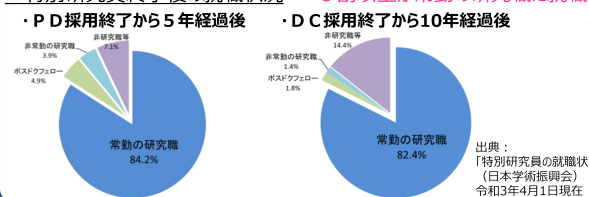
### 事業概要

#### 特別研究員事業 18,044百万円(15,796百万円)

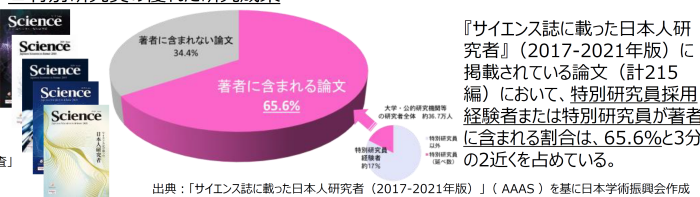
博士課程学生	DC SDC (仮称)	【対象：博士後期課程学生、研究奨励金(R4)：年額 2,400千円、採用期間：3年間(DC1)、2年間(DC2)】 DC・SDC: 10,367百万円⇒12,680百万円 ○ 優れた研究能力を有する博士後期課程学生が、経済的に不安を感じることなく研究に専念し、研究者としての能力を向上できるよう支援 ○ 支援人数 4,196人⇒4,376人(新規 1,750人⇒1,930人(うちSDC180人)) + 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた採用延長 244人 ○ 研究奨励金単価の増(年額) 2,400千円⇒2,760千円 ○ SDC(仮称)の創設 新規DCのうち特に優れた者(上位10%)の研究専念環境の更なる充実を支援(年額) 3,612千円、「研究発表・交流会」開催
	PD	【対象：博士の学位取得者、研究奨励金(R4)：年額 4,344千円、採用期間：3年間】 PD: 4,344百万円⇒4,344百万円 ○ 優れた研究能力を有する者が、研究に専念し、研究者としての能力を向上できるよう支援 ○ 支援人数 1,000人⇒1,000人
ポストドクター	RPD	【対象：出産・育児による研究中断から復帰する博士の学位取得者、研究奨励金(R4)：年額 4,344千円、採用期間：3年間】 RPD: 930百万円⇒930百万円 ○ 優れた研究能力を有する者が、出産・育児による研究中断後、円滑に研究現場に復帰して、研究に専念し、研究者としての能力を向上できるよう支援 ○ 支援人数 214人⇒214人
	CPD	【対象：博士の学位取得者、研究奨励金(R4)：年額 5,352千円(別途、海外渡航に係る往復航空券を支給)、採用期間：5年間(うち3年間は海外研さん)】 ○ 優れた研究能力を有する者が、海外の大学・研究機関において、挑戦的な研究に取り組みながら、著名な研究者等とのネットワークを形成できるよう支援 ○ 支援人数の増 56人⇒70人(新規 14人⇒14人)
国際競争力強化研究員事業 415百万円(338百万円)		

しかしSDCは現時点で実現せず

#### ■特別研究員終了後の就職状況 ⇒ 8割以上が常勤の研究職に就職



#### ■特別研究員の優れた研究成果



将来のアカデミア・学術研究を支え、世界的に優れた研究成果をあげる我が国トップ層の研究者を養成・確保

特別研究員制度は予算額の割に成果が出ている(コスパがよい)と主張。特別研究員を増やしたり奨励金を増額したいと思っている。

# 令和5(2023)年度から 日本学術振興会特別研究員-PD<sup>※</sup>が 雇用できるようになりました

※特別研究員-RPD、CPDを含む

独立行政法人日本学術振興会は、これからの学術研究の発展を担う優秀な若手研究者がより安心できる環境で自身の研究に専念できるよう、「**研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業**」を創設しました。

特別研究員制度の趣旨に賛同し特別研究員-PD等を雇用して積極的に優秀な若手研究者の確保・育成に取り組むことを希望する**受入研究機関にPD等の雇用経費を支援**します。

### 従来からのメリット

- ▶ 自由な発想のもとに主体的に研究を遂行
- ▶ 研究費の確保：総額450万円以下<sup>※</sup>

※特別研究員-PDの科学研究費助成事業 特別研究員奨励費  
(特別枠かつ研究期間3年の場合)



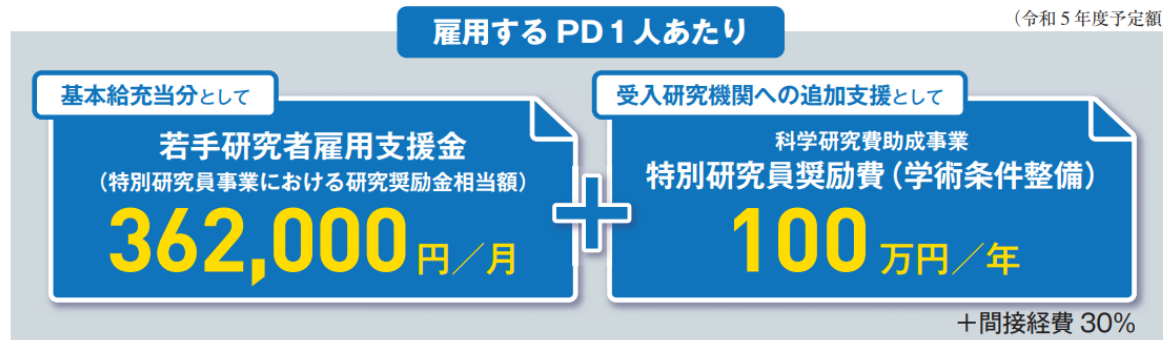
### 機関雇用による新たなメリット

- ▶ 研究専念環境の更なる向上
- ▶ 特別研究員-PD等の資格を持ったまま安定した身分を確保
- ▶ 社会保障の充実 等

# 学振PDの雇用化

注：東工大での導入は検討中とのことです（2024年度から可能性あり？）

受入研究機関で雇用するための経費をセットでサポート



- 受け入れ機関にも研究費（科研費）を追加で配分することで、雇用にかかる経費がサポートされる。
- 学振PD本人から見ると、収入は（ほぼ）変わらず、大学と雇用関係が結ばれ、雇用保険や健康保険、共済などの福利厚生が確保できる。

## デメリットは無いのか？？？

- （基本的に無い）
- 10年雇用の問題**：学振PDを3年やった直後に東工大で任期付き助教等になると、雇用期間上限が7年になってしまう。  
（トータル10年に学振PDの期間が算入される）

# まず敵を知りましょう

## • 何をどうするのか→申請書を書く

### 2. 【研究計画】

- 研究の位置づけ
- 研究目的・内容等
- 受入研究室の選定理由（PDのみ）

### 3. 人権の保護及び法令等の遵守への対応

### 4. 【研究遂行力の自己分析】

- 研究に関する自身の強み
- 今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素

### 5. 【目指す研究者像】

- 目指す研究者像
- 目指す研究者像に向けて特別研究員の採用期間中に行う研究活動の位置づけ





# まず敵を知りましょう

1. 敵を知り己を知れば百戦殆うからず(制度編)

## ・ 最近の変更ポイント①：書式の刷新

### 2. 【現在までの研究状況】

- これまでの研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点
- これまでの研究経過及び得られた成果

### 3. 【これからの研究計画】

- 研究の背景
- 研究目的・内容
- 研究の特色・独創的な点
- 研究計画（申請時点から）
- 受入研究室の選定理由（PDのみ）
- 法令遵守について

### 4. 【研究遂行能力】

### 5. 【研究者を志望する動機、目指す研究者像、アピールポイント等】 (DCのみ)

### 令和4年度から

### 2. 【研究計画】

- 研究の位置づけ
- 研究目的・内容等
- 受入研究室の選定理由（PDのみ）

### 3. 人権の保護及び法令等の遵守への対応

### 4. 【研究遂行力の自己分析】

- 研究に関する自身の強み
- 今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素

### 5. 【目指す研究者像】

- 目指す研究者像
- 目指す研究者像に向けて特別研究員の採用期間中に行う研究活動の位置づけ

**「研究者としての資質や将来性について、より重点を置いて評価できるよう刷新」**

# 今日の内容 – 申請書の書き方とコツ 4 選

1. 敵を知り己を知れば百戦殆うからず(制度編)
2. 伝わる申請書にする
3. 業績アピールをする
4. 敵を知り己を知れば百戦殆うからず(審査編)

# 何を伝えたいか

## • 学振の審査員に伝えたいこと

- 私が学術の将来を担う優れた研究者になる
- 私の研究計画の着想の素晴らしさ
- 私の研究計画がいかにも遂行できそう
- 私のアイデアの斬新さ
- 私の研究遂行力が十分にあること／これから頑張ること
- 私が学業をととても頑張ってきたこと

⋮

## 私が優秀であることを伝えたい

「私は日本の未来を支える優秀な研究者になり得る人材であり、  
今まさに投資すべき人間である、だからお金下さい。」と言いたい

### 鉄則

言われたとおりに書く

# 言われたとおり、とは？

例:【研究計画】(1)研究の位置づけの欄

**2. 【研究計画】** ※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

## (1) 研究の位置づけ

特別研究員として取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

# 言われたとおり、とは？

例:【研究計画】(1)研究の位置づけの欄

「概念図を入れろ」

「専門外の人を読む」

**2. 【研究計画】** ※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

## (1) 研究の位置づけ

特別研究員として取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

「関連研究(文献)を示せ」

「何を解決するのか示せ」

「この通りに項目を作って書け」